令和２年度次世代施設園芸コンソーシアム第２回研修会　開催計画

『施設園芸の環境制御に必要な土壌養水分管理のポイントについて』

１　目的

　　近年，全国の施設野菜栽培では収益性を高めるため先端技術を活用した複合環境制御技術の導入が進められており，本県においてもICT機器導入による環境の「見える化」と，それに基づく環境改善の取り組みが急務となっている。

　　　そこで，データに基づいた，植物の土壌養水分管理について理解を深めるため，技術導入に意欲的な施設園芸生産者及び園芸担当普及指導員を対象とした研修会を開催する。

２　日時　 令和２年１０月２２日（木）　１３：３０～１６：００

３　場所　　茨城県農業総合センター２Ｆ　大研修室（笠間市安居3165-1）

４　日程

（１）開　会　13:30～13:40

（２）講　演

ア　「環境制御に係るデータを活かした土壌養水分の管理について」 13:40～14:40

農研機構　野菜花き研究部門　野菜生産システム研究領域

施設生産ユニット長　　　氏

イ　「ＡＩ養液土耕システム「ゼロアグリ」の活用事例と具体的な管理データ」 14:40～15:10

株式会社ルートレック・ネットワークス

ウ 「現地実証生産者による事例紹介」 15:25～15:55

北茨城市　吉久保農園　吉久保　憲章　氏

（３）閉　会 15:55～16:00

５　参集範囲

　　　県内の先端技術（ＩＣＴ等）に関心がある生産者

　　　各農林事務所　経営・普及部門及び各地域農業改良普及センター園芸担当者

　　　農業総合センター（園芸研究所，鹿島地帯特産指導所，専門技術指導員室）等